

平成29年度 決算状況について

1 経営状況

(損益計算書)					
科 目	a	b	c		d
	平成29年度 決算値(千円)	平成28年度 決算値(千円)	対前年度増減(a-b)		
			差引増減 (千円)	増減率 (%)	
1 営業収益	11,059,805	11,181,292	▲121,487	▲1.1	
2 うち医業収益	10,274,154	10,251,820	22,334	0.2	
3 入院収益	6,733,791	6,833,516	▲99,726	▲1.5	
4 外来収益	3,327,335	3,207,346	119,989	3.7	
5 その他医業収益	213,028	210,958	2,070	1.0	
6 営業費用	11,070,170	11,154,479	▲84,309	▲0.8	
7 給与費	6,232,867	6,232,918	▲51	▲0.0	
8 うち医業費用	5,723,153	5,696,693	26,460	0.5	
9 一般管理費	509,714	536,225	▲26,512	▲4.9	
10 材料費	3,013,538	2,976,962	36,575	1.2	
11 経費	1,461,300	1,452,200	9,099	0.6	
12 減価償却費	325,047	451,932	▲126,885	▲28.1	
13 研究研修費	37,419	40,467	▲3,047	▲7.5	
14 営業損益	▲10,365	26,813	▲37,178	▲138.7	
15 営業外収益	145,483	146,628	▲1,144	▲0.8	
16 営業外費用	438,937	439,522	▲585	▲0.1	
17 経常損益	▲303,819	▲266,081	▲37,738	14.2	
18 臨時利益	1,895	402	1,493	371.6	
19 臨時損失	6,941	5,104	1,837	36.0	
20 当期純損益	▲308,864	▲270,783	▲38,081	14.1	

- ・当期純損益は、約3億800万円の赤字となった。
- ・経常損益は、約3億300万円の赤字で、対前年度比約3,800万円の悪化となった。
- ・経常収支比率は、97.4%、医業収支比率は、92.8%となった。
- ・資金は、期末における現預金残高は、約8億2,800万円となった。

2 経営状況悪化の主な要因

入院患者数は対前年度比でわずかに増加しているが、入院診療単価が、対前年度比で770円減少したことに伴い、入院収益が減少した。

入院診療単価の減少の主な要因としては、年度途中において、放射線治療装置の故障及び麻酔科の医師が退職したことにより、手術等を必要とする重症患者を受け入れることができなかったからである。

3 経営改善に向けた今後の対応

- ・救急患者の受け入れ体制を強化する。
- ・更なる地域医療機関との連携推進により、紹介患者の受け入れ増加を図る。
- ・新病院開院に向けて体制整備（救急科や放射線治療科の新設等）を進めるとともに、広報に努める。
- ・職員のコスト意識向上等による経費削減に努める。